

令和5年度伝統産業技術後継者育成研修

「陶磁器コース」「選択履修コース」研修生募集要項

地方独立行政法人京都市産業技術研究所では、京都の陶磁器産業界の将来を担う人材の育成を目的として、陶磁器に関する専門的な基礎知識と技術を修得する研修を実施するため、下記のとおり令和5年度研修生を募集します。※当研修は令和5年度の予算の成立が前提となります。(受講料は予定です)

記

1 研修期間

令和5年4月～令和6年3月（休講期間：夏期30日、冬期20日程度）

月曜日～金曜日 午前9時～午後4時30分 ※休日を除く 一部時間外実習（焼成）あり

2 会場

地方独立行政法人京都市産業技術研究所 ※一部外部での実習あり

3 募集定員

陶磁器コース：4名～10名程度

選択履修コース：各コース若干名

※陶磁器コースの定員が4名に満たない場合、開催されない事があります。

4 受講料等

陶磁器コース：260,000円（令和4年度受講料実績につき、変更の可能性もあります）

※別途、傷害保険料等の自己負担あり（5,000円程度）

選択履修コース：「選択履修コース」研修の概要 参照

5 受講資格

次の条件を満たされている方

本市陶磁器製造関係の中小企業者又はその従業員で、陶磁器製造技術に関する実務経験を有する方、又は従事希望者等（学生可）

6 申込書の配布

地方独立行政法人京都市産業技術研究所で配布します。

※ 上記のほか、陶磁器関連業界団体（詳細はお問い合わせください）や京都市役所でも配布します。

※ 当研究所ホームページ（<http://tc-kyoto.or.jp/>）からもダウンロードできます。



<http://tc-kyoto.or.jp/>

7 申込方法

次の書類を地方独立行政法人京都市産業技術研究所へ郵送又は持参してください。

- ・参加申込書（別紙1）
- ・履歴書（顔写真貼付）

8 選考試験日程

■第1回募集

「陶磁器コース」

申込期間：11月16日（水）～12月7日（水）

選考試験：12月16日（金）

合否郵送：12月23日（金）付け

「選択履修コース」

※選択履修コースは複数選択可

申込期間：11月16日（水）～令和5年1月31日（火）

選考試験：令和5年2月10日（金）

合否郵送：令和5年2月22日（水）付け

■第2回募集

「陶磁器コース」

申込期間：令和5年1月5日（木）～1月31日（火）

選考試験：令和5年2月10日（金）

合否郵送：令和5年2月22日（水）付け

※ 申込書を郵送の場合は最終日の消印有効とします。

※ 受理後、受験票を送付します。なお、選考日3日前までに受験票が届かない場合はご連絡ください。

※ 合否郵送日から一週間を経過しても通知が無い場合はご連絡ください。

9 試験内容

「陶磁器コース」：筆記試験（陶磁器に関する内容の作文）・実技試験（鉛筆デザイン）・面接

「選択履修コース」：面接

10 問合せ先

地方独立行政法人京都市産業技術研究所 担当：橋田・鈴木

〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町9-1 京都リサーチパーク9号館南棟

TEL：075-326-6100（代表）FAX：075-326-6200 URL：<http://tc-kyoto.or.jp/>

E-mail: tojiki@tc-kyoto.or.jp

※随時、見学・ご相談を承っております。お気軽にご連絡ください。

「陶磁器コース」 研修の概要

長年培われた当研究所の技術の習得とともに、多彩な外部講師を招聘し、実習を中心とした陶磁器に関する幅広い専門知識を修得する研修を行います。本研修は、原料の選定から製造までの一貫工程の修得に合わせて、研究所ならではの新技術や、新製品の開拓などに必要な科学的なアプローチも同時に学ぶ事ができます。また、研修修了後も継続した技術支援や販路開拓などのサポートを行っており、陶磁器製造に関わる従業員の方や陶芸家を目指している方などに向けて、充実したカリキュラムになっています。

※ 内容は講師の都合等によりやむを得ず変更する場合があります。

※ 受講内容を選択できる「選択履修コース」の受講生を併せて募集します。

【研修科目と内容】

		科 目	内 容	単 位	選択履修コース ○:あり
陶磁器コース	特別講義	陶磁器史	外部講師による講義	2	○
		窯業考古学	"	1	
		陶磁器技術・調製法	"	2	
		原料・焼成	"	2	
		成形・乾燥	"	2	
		経営・マネジメント	"	1	
	特別実習	楽茶碗の成形	"	1	/
		下絵付実習	呉須下絵付(五寸皿)	8	○
		上絵付実習	和絵具, 洋絵具, 金欄手, 上絵総合(碗, 五寸皿, 湯呑, 八寸鉢)	8	○
		打込み成形実習	ロクロ打込み成形(鉢)	12	○
		陶塑実習	石膏型押し型成形(香合, 置物)	12	○
	講義	三次元加工機・分析機器	当研究所職員による講義	2	/
		釉薬・顔料	"	8	○
		ニューセラミックス	"	1	
	実習	釉薬実習	灰釉実験, 土石基礎釉実験, 土石色釉実験, 素地実験, 化粧実験, 下絵具実験	88	
			自主実験, 製品化実習, 釉薬成果発表	52	
		成形実習	ロクロ成形(土ねり, 碗, , 酒器 等), 鑄込み成形(マグカップ) ひねり成形(赤楽茶碗, アメリカン楽), 修了制作	106	/
		金継実習	漆工研修との合同研修	9	/
	その他	清掃日	実習室, 窯場, 釉薬資料室の整理 等	5	/
		オリエンテーション等	開講式, 修了式, オリエンテーション	3	/
その他		釉薬発表展, 修了作品展, 焼成実習, 調整実習, 清掃日 等	46	/	
合 計				371	

* 単位数(3時間を1単位とする)

「選択履修コース」 研修の概要

本コースは、陶磁器コースのカリキュラムを科目ごとに選択し受講する事ができるコースです。一年通しての受講が困難な方など、それぞれのライフスタイルと目的に合わせて受講科目を選択する事ができます。(選択履修コースは複数選択可)

※ 内容は講師の都合等によりやむを得ず変更する場合があります。

※ 各コースの受講料については、陶磁器コース同様、予定となっております。

【コースと内容】

No.	コース	内 容	受講料, 期間 等	単位
①	釉薬コース	陶磁器コースで実施している釉薬実習カリキュラムの内「灰釉, 土石釉, 色釉」実習を受講し, 釉薬の基礎について学ぶコースです。また, 職員が担当する講義が受講できるため, 実習と合わせて釉薬についての知識を深める事ができます。 歴史ある当研修の釉薬実習は, その充実した内容により, 他産地からも釉薬を学ぶため多数受講される人気のカリキュラムとなっております。	<ul style="list-style-type: none"> ■特別講師: 陶芸家(釉薬専門家) ■受講料: 120,000円 ■期間: 4月中旬～11月中旬 ※8月を除く 月・水(火: 講義)(全54回) ■開催時間: 9:00～16:30(講義: 9:00～12:00) 	98
②	特別講義コース	陶磁器を様々な角度からとらえた講義内容により, 各分野の知識を深めると同時に, 作陶活動に役立つ情報を得る事ができます。(内容: 製陶学, 陶磁器史, 窯業考古学, 経営マネジメント 等)	<ul style="list-style-type: none"> ■特別講師: 大学教授, 伝統工芸士, 他 ■受講料: 23,000円 ■期間: 6月初旬～9月下旬 ※8月を除く 主に火曜 (全10回) ■開催時間: 9:00～12:00 	10
③	下絵付コース	伝統工芸士の先生をお招きし, 呉須絵具を用いた染付皿の製作を通して, 伝統文様及び, 絵具や筆の使い方について学びます。	<ul style="list-style-type: none"> ■特別講師: 巖田 亨(伝統工芸士) ■受講料: 21,000円 ■期間: 9月～10月 ※8月を除く 主に火曜 午後(全8回) ■開催時間: 13:00～16:30 	8
④	上絵付コース	伝統工芸士の先生をお招きし, 京都市産業技術研究所が開発した無鉛上絵具を使用して菓子鉢を製作し, 上絵付の様々な技法及び, 無鉛絵具の使い方と取扱いについて学びます。	<ul style="list-style-type: none"> ■特別講師: 清水 明(伝統工芸士) ■受講料: 21,000円 ■期間: 10～11月 主に火曜(全8回) ■開催時間: 9:00～12:00 	8
⑤	打込成形コース	石膏型で打込み型を製作し, 同じ形を量産するための型による成形技術及び, 石膏の扱い方について学びます。	<ul style="list-style-type: none"> ■特別講師: 吉見 啓一(陶芸家) ■受講料: 28,000円 ■期間: 7月 木・金(全6回) ■開催時間: 9:00～16:30 	12
⑥	陶塑コース	干支の置物や香合の製作を通して, 粘土原型から石膏型の起こし方及び, 作品に合わせて押し型や鑄込み型の製作について学びます。	<ul style="list-style-type: none"> ■特別講師: 馬場 安朗(陶芸家) ■受講料: 28,000円 ■期間: 9月 木・金(全6回) ■開催時間: 9:00～16:30 	12

* 単位数(3時間を1単位とする)

【特記事項】

※ 選択履修コースの定員は、各コース若干名となります。